

残留農薬検査（迅速一斉分析法）のご案内

全農 営農・技術センター 残留農薬検査室では、残留農薬検査を受託しています。

迅速に多くの農薬成分を検査したいというご要望にお応えするため、「迅速一斉分析法」を確立しました。

「迅速一斉分析法」では、約 250 成分（対象成分は裏面参照）を0.01ppm（ポジティブリスト制度の一律基準値）まで一斉に測定できる検査法となっています。

検査依頼のお問い合わせは下記までご連絡ください。

検査受託から結果報告・検査料金のお支払いまでの流れ

お問合せ	ご依頼の際には必ず事前にご連絡ください。
▼	
依頼内容の確認	検査項目、必要量、報告期限、料金などについて確認します。
▼	
検査依頼の申込	依頼書に必要事項を記入のうえ、検体と同梱あるいは郵送で送付ください。
▼	
検体の送付	検体は他の農薬等に汚染されないように梱包し、宅急便（青果物はクール便）で送付ください。
▼	
検査の実施・報告	検体到着日を受付日とし、原則として5～7営業日で報告書を送付いたします。
▼	
検査料金の処理	請求書は報告書に同封しています。請求の翌月末までに指定口座にお振込ください。（請求書に振込先を記載しています。振込手数料はお客様ご負担でお願いします。）

連絡先

全国農業協同組合連合会

営農・技術センター 残留農薬検査室

〒254-0016 神奈川県平塚市東八幡4-18-1

TEL 0463-22-1902 FAX 0463-24-2827

MAIL zz_zk_zanken@zennoh.or.jp

迅速一斉分析法の特長

- 残留農薬検査に25年以上の信頼と実績を持ち、優れた技術と検査体制に裏づけされた確かな検査結果をお返しいたします。
- 検査の結果、残留農薬基準値を超過する疑いがある場合、速やかにお客様にご連絡いたします。



迅速一斉分析法の検査対象成分一覧表（2019年4月現在）

検査成分名<有効成分名>	検査成分名<有効成分名>	検査成分名<有効成分名>	検査成分名<有効成分名>	検査成分名<有効成分名>
1 pp-DDD	61 カルボフラン	121 ディルドリン	181 フェンキカルブ	241 ペンチアバリカルブイソプロピル
2 pp-DDE	62 キザロホップエチル	122 チトラコナゾール	182 フェノチカルブ	242 ペンチオピラド
3 pp-DDT	63 キナルホス	123 チトラジホス	183 フェノカルブ(BPMC)	243 ペンチメタリン
4 EPN	64 キノクサミン	124 テニルクロール	184 フェリムゾン(E)	244 ペンチキサン
5 XMC	65 クミルロン	125 テブコナゾール	185 フェリムゾン(Z)	245 ペンチフェン
6 α-BHC	66 クレンキシムメチル	126 テブフェンジド	186 フェンアミド	246 ホキシム
7 β-BHC	67 クロチアニジン	127 テブフェンピラド	187 フェンエート(PAP)	247 ホサロン
8 γ-BHC	68 クロチアニジン	128 テブクロキ	188 フェンエミド	248 ホスカリド
9 δ-BHC	69 クロチアニジン	129 テブクロキ代謝物	189 フェンバシレート	249 ホスチアセート
10 α-エンドスルファン<ベンゾエピン>	70 クロメプロップ	130 テフルトリン	190 フェンピロキシメート(E)	250 ホスメット(PMP)
11 β-エンドスルファン<ベンゾエピン>	71 クロラントラニプロール	131 テフルベンズロン	191 フェンコナゾール	251 マラチオン<マラソン>
12 アイオキシニル	72 クロルピリホス	132 トリアジメノール	192 フェンプロバトリン	252 マンジプロバミド
13 アクリナトリン	73 クロルピリホスメチル	133 トリアジメノール	193 フェンヘキサミド	253 マンジプロバミド
14 アセタニピド	74 クロルフェナピド	134 トリジクランゾール	194 フサラド	254 ミクロバタニル
15 アセフェート	75 クロルフルアズロン	135 トリフルミゾール	195 フタクロール	255 メノミル
16 アゾキシストロビン	76 クロルプロファム<IP>	136 トリフルミゾール代謝物	196 フタミホス	256 メタミドホス
17 アトラン	77 クロロベンジレート	137 トリフルラン	197 フタフェジン	257 メタラキシル
18 アミスルプロム	78 アゾキサメト	138 トリフルキシストロビン	198 フタミド	258 メチダチオン<DMTP>
19 アミダス	79 シアノジン	139 トリフルラン	199 フタミド	259 メキシフェンジド
20 アラクロール	80 シアノホス<GYAP>	140 トリフルホスメチル	200 フタジメノール	260 メコナゾール
21 アルドリ	81 シアノラニプロール	141 トリフルピラド	201 フタオピコリド	261 メノミド<E>
22 イノキサチオン	82 ジウロン<OCMU>	142 ナバルロン	202 フルジクシニル	262 メラクロール
23 イソピラザム	83 ジメトフェカルブ	143 バクトラゾール	203 フルトリネート	263 メバニド
24 イソプロカルブ<MIPQ>	84 シェルピラフェン	144 ハロフルプロンメチル	204 フルルファミド	264 メバニドプロバノール体
25 イソプロチオラン	85 ジクロラゾク	145 ジクロラゾク	205 フルラニル	265 メフェナセート
26 イソコナゾール	86 ジクロラフェン<ECP>	146 ジクロラゾク代謝物	206 フルバニレート	266 メロニル
27 イソフェンカルバゾン	87 ジノフラ	147 ジノキシロビン	207 フルビラジフロン	267 モリネート
28 イソベンホス<IBP>	88 シハロリン	148 ビテルタノール	208 フルフェクシロン	268 リュネン
29 イソキサリ	89 ハロホップエチル	149 フタニド	209 フルベジミド	269 ルフェスロン
30 イマゾスルプロン	90 フェンコナゾール	150 ビフルミド	210 フルミオキサジン	
31 ミダクプロピド	91 シフルトリン	151 ビフルミド代謝物	211 フレチラクロール	
32 イミベンコナゾール	92 シフルフェナミド	152 ヒメキサノール	212 フロシド	
33 イミベンコナゾール脱ベンジル体	93 ジフルフェナミド	153 ヒメロジン	213 フロスルホカルブ	
34 インダノファン	94 ジフルベンスロン	154 ヒラクロストロビン	214 プロチオホス	
35 インドキサカルブ	95 シプロコナゾール	155 ヒラクロニル	215 プロバニル<DOPA>	
36 ウニコナゾールP	96 シプロジニル	156 ヒラクロホス	216 プロバホス	
37 エスプロカルブ	97 シマジン<GAT>	157 ヒラジキフエン	217 プロバモカルブ	
38 エキソフェンカルブ	98 シメタノール	158 ヒラジキフルロニル	218 プロバミド<BPPS>	
39 エキソ	99 シメタニル	159 ヒラジキフル	219 プロコナゾール	
40 エキソ	100 シメタニル	160 ヒラジキフル	220 プロビザミド	
41 エキソ<EDDP>	101 シメタニル	161 ヒラジキフル	221 プロビザミド	
42 エキソ	102 シメタニル	162 ヒラジキ	222 プロフェノホス	
43 エキソ<EDDP>	103 シメタニル	163 ヒラジキ	223 プロバノール	
44 エキソ	104 シメタニル	164 ヒラジキ	224 プロバニル<PHQ>	
45 エキソ	105 シメタニル	165 ヒラジキ	225 プロバニル	
46 オキサジニル	106 スピネトラム	166 ヒラジキ	226 プロバニル	
47 オキサジニル	107 スピネトラム	167 ヒラジキ	227 プロバニル	
48 オキサジニル	108 スピネトラム	168 ヒラジキ	228 プロバニル	
49 オキサジニル	109 スピネトラム	169 ヒラジキ	229 プロバニル	
50 オキサジニル	110 スピネトラム	170 ヒラジキ	230 プロバニル	
51 オキサミル	111 スピネトラム	171 ヒラジキ	231 プロバニル	
52 オリサストロビン(E)	112 ダイミジン	172 ヒラジキ	232 プロバニル	
53 オリサストロビン(Z)	113 ダイミジン	173 ヒラジキ	233 プロバニル	
54 カズサホス	114 テアクロピド	174 ヒラジキ	234 プロバニル	
55 カズサホス	115 テアクロピド	175 ヒラジキ	235 プロバニル	
56 カズサホス	116 テアクロピド	176 ヒラジキ	236 プロバニル	
57 カズサホス	117 テアクロピド	177 ヒラジキ	237 プロバニル	
58 カズサホス	118 テアクロピド	178 ヒラジキ	238 プロバニル	
59 カズサホス	119 テアクロピド	179 ヒラジキ	239 プロバニル	
60 カズサホス	120 テアクロピド	180 ヒラジキ	240 プロバニル	

《分析方法および分析対象農薬の選定について》

迅速一斉分析法はQuEChERS法(キャッチャーズ法)という世界的に普及している分析手法を用いています。

当室では上記の農薬成分を対象とし、農作物を用いた検証実験により正確な結果が得られることを確認した農薬成分をその農作物の検査対象に選定しています。

農作物に含まれる成分(糖分、ビタミン、色素など)は農作物ごとに種類や量が異なり、測定に与える影響も異なります。このため、農作物により約200の農薬成分中のいくつかが測定不能となることがあるため、農作物ごとの検査成分数に若干の差異が生じます。